

仙台市議会だより

sendai city assembly

第174号

平成28年

第3回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp/>

2016年(平成28年)12月発行

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



秋保(長袋)の田植踊



黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用)

【市博物館所蔵】



大崎八幡宮

日本遺産認定「政宗が育んだ“伊達”な文化」

文化庁は、地域の魅力あふれる文化財群を通して日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定しています。

平成28年度の「日本遺産」には、伊達政宗が造営した国宝・大崎八幡宮やユネスコ無形文化遺産の秋保の田植踊など、さまざまな有形・無形の文化財で構成される「政宗が育んだ“伊達”な文化」が認定されました。

これは、伊達政宗が伊達家で育まれた伝統文化を土台に、豪華絢爛な桃山文化の影響を受けながら、粋な斬新さや国際性を生かした新しい文化を花開かせ、その文化が仙台から全国へ、武士から庶民へ広がったものです。

平成28年度補正予算を含む32件の議案等を可決

10/11	9/26	9/23 ~ 10/6	9/21	9/15 ・ 16・ 20	9/13 ・ 14	9/7
本会議	本会議	決算等審査特別委員会	常任委員会	本会議	本会議	本会議
・ 決算等審査特別委員会委員長報告 ・ 常任委員会委員長報告 ・ 討論・議案の採決 ・ 意見書の採決 ほか	・ 議案の採決 ほか	・ 決算等議案の審査	・ 決算等議案以外の審査	・ 一般質問 23人	・ 決議の採決 ・ 代表質疑 5人	・ 人事案件 ・ 議案の採決 ・ 各常任委員・議会運営委員の選任 ・ 議案の提案理由説明

平成28年第3回定例会 会期日程

第3回定例会
今定例会では、補正予算案や条例案など、34件の議案等が提出されました。代表質疑では、本市議会においても繰り返し求め続け、市当局が平成29年10月から対象を拡充することを表明した子ども医療費助成制度など、市政の重要課題について、活発な議論を展開しました。一般質問では、河川の整備に関することや教育、福祉についての諸課題など、幅広い質問を行いました。また、震災復興計画の最終年度であった平成27年度の決算について、決算等審査特別委員会を設置し、審査を行いました。この他、北朝鮮が実施した

市民のみなさまへ

核弾頭の爆発実験や弾道ミサイルの発射に断固として抗議する決議と、返還不要の給付型奨学金の創設や無利子奨学金制度などの拡充を求める意見書を、いずれも全会一致で可決しました。

分科会方式を導入

今定例会で設置した決算等審査特別委員会において、新たに分科会方式を導入し、審査の一層の充実を図りました。(詳しくは、3面をご覧ください) 二元代表制の一翼を担う者として、本市議会では、これからも審議のさらなる活性化を図り、議会としての責務を果たしてまいります。

議長 岡部 恒司
副議長 安孫子 雅浩
仙台市議会

会派別所属議員

平成28年10月11日現在

自由民主党	市民フォーラム仙台	日本共産党仙台市議団
斎藤 啓一 橋本 啓夫 跡部 薫 加藤 彦 やしろ 美香 菊地 崇良 渡辺 博 柿沼 敏 赤間 次 佐藤 正彦 鈴木 昭彦 西澤 治文 野田 譲 高橋 文 庄司 文 田村 俊次 岡部 恒司 松本 恒 菅原 正 わたなべ 卓 佐々木 誠 高橋 卓	岡本 あき子 佐藤 わか子 村上 かずひこ 小野寺 健 加藤 けんいち 木村 勝好 安孫子 雅浩 渡辺 敬信 平井 みどり 沼沢 しんや	嵯峨 サダ子 花木 則彰 ふるくぼ 和子 ふなやま 由美 高見 のり子 すげの 直子 庄司 あかり 辻 隆一 石川 建治 相沢 和紀 ひぐち のりこ 小島 勇朗 小野寺 裕 鎌田 康 鈴木 貴志 嶋中 昭一 嶋地 昭一 田村 行 小野寺 裕 小田島 久美子 佐藤 和子 佐々木 真由美 佐藤 幸雄

目次

市民のみなさまへ 定例会会期日程 会派別所属議員 主な議案の紹介 意見書・決議	1面 2面 2面
代表質疑	2・3面
決算等審査特別委員会に 分科会方式を導入しました 子ども議会のご案内	3面
一般質問 常任委員会審議の概要	4・5面
用語解説	5面
決算等審査特別委員会 新委員の紹介 傍聴のご案内 次回定例会のお知らせ 会派別議案等賛否一覧表 市議会ガイドQ&A	6・7面 8面

主な議案の紹介

平成28年度補正予算
○一般会計
・公立保育所の民営化に伴う施設整備補助金に係る債務負担行為を設定するもの
・子ども医療費助成制度の拡充に...

等の一部を改正する条例
富谷町の市制移行に伴い、所要の規定整備を行うもの
○工事請負契約の締結に関する件
消防航空隊庁舎および格納庫等移転改築工事

意見書
第3号 返還不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める件
大学の授業料の高止まり等により、現行の国の貸与型奨学金制度を利用する学生が増加する一方、非正規雇用などで卒業後の収入が安定せず、奨学金の返還に悩む人が少なくない。

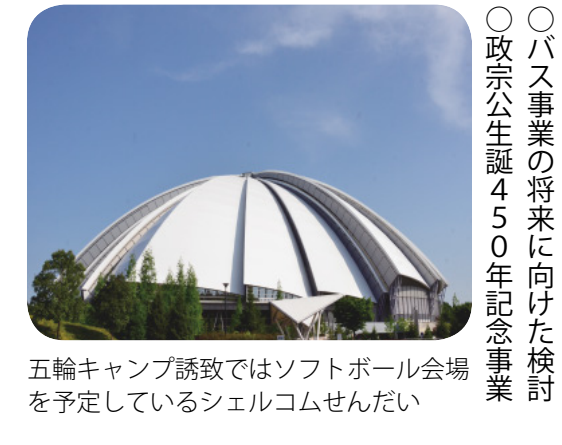
決議
第3号 北朝鮮の核実験及びミサイル発射に対する抗議に関する件
北朝鮮による今年1月の水爆実験や、2月の長距離弾道ミサイルの発射を受けて採択された、同国への制裁を強化する国連安保理決議を経て、なお繰り返される核実験やミサイル発射に対して断固として抗議するもの。

自由民主党

加藤 和彦 議員

問 全世界が注目するイベントに企画すべく、キャンプ誘致に取り組んでいると思うが、いまひとつその姿が見えない。どのような種目をターゲットにどの施設を活用していくのか伺う。
答 イタリア共和国のキャンプ誘致を進めていく。対象種目は、サッカー、バレーボール、ソフト

問 今年度中に公募手続きの再開の可否を判断されているが、現在どのような状況にあり、手続き再開をどう考えているのか伺う。
答 当面、ガス小売り自由化などの影響やそれを踏まえたエネルギー関連の事業者側の動向を見定める必要がある。公募手続きの再開について早期に判断する状況にはないと考えているが、事業者側とさまざまな情報交換を行い、民営化への道を探っていくきたい。



五輪キャンプ誘致ではソフトボール会場を予定しているジェルコムせんだい

問 災害対応法制上の課題解決と震災遺構の整備方針
○中山間地域の早急な雨水対策を収入未済額の縮減への取り組み
○IT産業を活用したビジネスモデルを展開し企業誘致を
○国際的なコンベンションの誘致
○音楽ホール建設の判断について
○市役所本庁舎の建て替えの検討
○バス事業の将来に向けた検討
○政宗公生誕450年記念事業

市民フォーラム台

平井 みどり 議員

問 台風10号の襲来時には、地域の避難所運営マニュアルと異なる避難所が設置された地域があるなど、市の対応に課題が見られた地域での協議状況を把握し、地域の実情に即した対応が必要である。一連の台風等の経験を踏まえ、避難所の体制の見直しや改善をすべき。
答 一連の台風等への対応を検討

問 本市の観光施策は、仙台の魅力が何かという点が明確になっておらず、政宗公が築いた歴史文化という貴重な財産も十分に生かして切れていない。観光施策は長期的な視点に立つて考える必要がある。地域固有の資源に価値を見いだして観光に活用すべき。
答 まちそのものの魅力づくりに継続して取り組むことにより、地域固有の資源が魅力的な観光資源となるものと認識している。観光客動態調査の結果も踏まえ、観光施策を



今日まで引き継がれる本市の歴史・文化を築いた伊達政宗公

代表質疑

公明党

小野寺 利裕 議員

問 本市の復興事業については、今後はソフト面の強化を
答 震災から5年6カ月が経過した本市の復興状況の、特にソフト面の復興について市長の所見を伺う。

問 昨年の国連防災世界会議では「仙台防災枠組」の採択や、約400件ものパブリック・フォーラム等が活発に行われ、多くの市民が会議を体験する貴重な機会となった。世界防災フォーラムにおいて市民参加型の会議となることを期待するが、所見を伺う。
答 「仙台防災枠組」では市民事業者、研究機関やメディア等多様な主体が参加することの重要性がうたわれており、会議に多くの市民が関わることでまさにその実践といえる。国連防災世界会議に



海拔10メートルの「避難の丘」から望む「海岸公園野球場」(平成28年10月現在)

問 定着や季節変動などを考慮し、1年程度の時間をかけて見極めを行い、対応を検討することとしている。
○子どもの主な質疑項目
○子ども医療費助成制度は所得制限と一部負担金を廃止すべき
○教育環境整備のため財政措置を
○教育長が社会教育の活動と認め
た宮城県母親大会への学校施設の貸し出しは学校教育法上も可能
○県広域防災拠点計画地のリスク

社民党

小山 勇朗 議員

問 いじめ防止対策は最優先で取り組むべきものと認識している。教職員が子どもと向き合える体制づくりや教職員のいじめ問題への対応力の向上が重要であり、効果的な研修の充実を図りたい。
答 いじめ防止対策は最優先で取り組むべきものと認識している。教職員が子どもと向き合える体制づくりや教職員のいじめ問題への対応力の向上が重要であり、効果的な研修の充実を図りたい。

問 譲渡所得の特別控除による譲渡促進策を最大限活用することにも、市独自の助成制度を設けるなど、空き家対策の推進を。
答 ご指摘の税の特例措置の周知を図るとともに、法務や不動産の実務に携わる民間団体と連携し、多面的な角度から実行性の高い取り組みを検討したい。

問 復興公営住宅入居者への訪問・見守り活動の継続を
答 復興公営住宅に入居する高齢者や1人暮らしの方の孤独死・孤立の防止やコミュニティ形成に資する訪問・見守り活動を継続すべき。継続的に町内会等のコミュ



復興公営住宅入居者のコミュニティ形成支援を(町内会設立総会の様子)

日本共産党

ふるくぼ 和子 議員

問 市の財政を潤わせるのではなく被災した市民へ支援を
答 復興計画期間が終了した決算年度は普通会計で32億円もの赤字。財政調整基金は過去最高の32.2億円に達し、復興基金も19.8億円使い残した。財源は十分あるのだから、市長は被災者の生活を再建を後押しする支援策を決断し実施すべき。

問 バス路線再編の見直しは、市民がどのような希望をしているのかを、地域ごとに聞き取る努力を行うべきであり、「要望を聞く会」を開催することを求める。
答 バス路線再編では、平成26年度に各地域で2回ずつ、延べ64回説明会を開催し、要望はできるだけ取り入れるよう努力した。再編後の状況について、乗車習慣の



学校施設を利用してきた社会教育の活動

問 市民の要望に応える
答 暮らし応援の市政を

決算等審査特別委員会に分科会方式を導入しました

本市議会では、平成28年第3回定例会の決算等審査特別委員会に、新たに分科会方式を導入しました。決算審査の在り方については、これまで議会機能充実会議において、「決算審査を充実させるため、現行の審査時間を確保しながら、審査をより深める」ことを目的に、今定例会での分科会方式の導入を見据え、協議を重ねてきました。議会選出の監査委員を除く全議員が、3つの分科会に分かれて審査をします。分科会での審査は、局を単位として行います。
○第一分科会 総務財政委員会・健康福祉委員会が所管する局
○第二分科会 市民教育委員会が所管する局
○第三分科会 経済環境委員会・都市整備建設委員会が所管する局
今定例会の決算等審査特別委員会では、各分科会に議員が18人ずつ分かれ、それぞれ3日間にわたって審査を行いました。引き続き、議会選出の監査委員を除く全議員が出席して審査をする全体会が3日間開催されました。
本市議会では、今後も議会の審議のさらなる活性化に向けた取り組みを検討してまいります。
※決算等審査特別委員会の審議の詳細につきましては、6・7面をご覧ください。

子ども議会(議会体験プログラム)のご案内

仙台市議会では、小学校5年生から高校3年生までを対象とした「子ども議会(議会体験プログラム)」の参加団体を募集しています。子ども議会では、児童・生徒が議長や議員などの役割を演じながら審議を体験し、議案が市議会に提案されてから議決されるまでの仕組みを学ぶことができます。平成29年1月17日には虹の丘小学校の6年生、1月24日には七北田小学校の6年生が、参加を予定しています。校外学習などに、ぜひご利用ください。
〈お申し込み・お問い合わせ〉
議会事務局調査課 TEL(214)6169
子ども議会の様子

一般質問 議会以外の市政全般に関する質問を一般質問で行った議員の質問のうち、主な質問と答弁の内容等を掲載しています。

自由民主党

佐々木 心 議員 JR駅のホームドア整備を進めるために、誰かが費用を負担しているか議論し、社会的な合意がなされるべきと考えるが、市長の所見を伺う。

わたなべ 拓 議員

車庫流入倍増をもたらす、イチヨウ並木伐採を伴った広瀬道の道路改良工事は、いったん停止すべき。

松本 由男 議員

治山・治水対策のため総合的な雨水対策推進計画を、森林整備計画における雨水対策の考え方を、整備計画中の芥川、高野川、堀切川、谷地堀の河川改修の進捗率の評価。

公明党

佐藤 幸雄 議員

児童クラブでの小学4年生の受け入れは、現在利用している小学3年生へアンケート調査を実施し人数の検討を、作業スケジュール等の課題もあるため、小学校や運営団体とも検討しながら実施の可能性を検討したい。

佐々木 真由美 議員

色覚障がいへのカラーバリアフリー対応と教職員や保護者への周知について伺う。ガイドラインで広報上の配慮を示している。教職員や保護者の理解は児童生徒の不安解消のため重要であり、今後とも養護教諭の研修や保健だより等での周知を行っていく。

鎌田 城行 議員

空気応用計測の周知と導入を、活動を経済的に支えるため、仙台ふるさと応援寄附に地域猫支援を掲げ施策推進を、応援寄附活用の検討も含め、より一層市民協働の動物愛護推進に取り組んでいきたい。

佐藤 和子 議員

都市公園内の集会所設置の要望について、早急に基準を検討し要綱の制定を、公園の果たす多様な役割を踏まえ、他市の事例も参考に柔軟な利用を検討していく。

渡辺 博 議員

都市計画道路の進捗状況と今後の計画見直しについて、屋外広告物の安全管理は本市の積極的な取り組みが必要で、国保運営上の社会的弱者への配慮と都道府県化への対応。

庄司 俊充 議員

七北田川上流域氾濫の危険回避のため、土砂のしゅんせつや川幅拡幅、護岸整備が必要。県と協力し対応を、県が今年度内にまとめる河川整備計画に基づき、早期の改修を原に働きかけたい。

高橋 次男 議員

農作物のインシシ被害対策、本市農業振興への取り組みが、ごみ減量とバイオマス発電パークゴルフ場の整備を、スポーツを活用した観光推進。

西澤 啓文 議員

図書館の開館時間等の改善、1人暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で継続して安定した生活が送れるような支援体制づくりに向け、本市は今後どう取り組むか伺う。

日本共産党

すげの 直子 議員

職員室等の室温調査の結果、40度を記録している学校もあった。普通教室や職員室等に順次エアコンを設置せよ、全ての学校への一律のエアコン設置は財政上難しいが、今後の検討課題としたい。

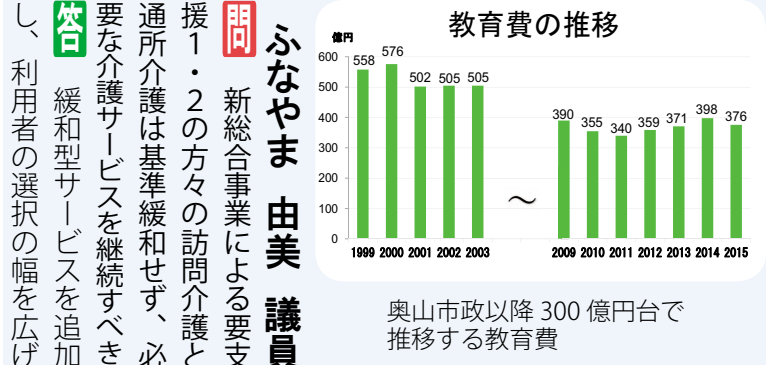


広島市中区の都市公園内集会所 (設置基準は昭和53年3月制定)

ふなやま 由美 議員

新総合事業による要支援1・2の方々の訪問介護と通所介護は基準緩和せず、必要な介護サービスを継続すべき。緩和型サービスを追加し、利用者の選択の幅を広げ、指導要領の枠を超えた本市独自の教育を目指す。

教育費の推移



環境等氾濫想定区域への対応

「特定空家等」への、催告に至るまでの事前の助言・指導の回数や期間等の具体的基準を定め、近日中に運用を開始する予定である。

野田 謙 議員

ラグビーW杯キャンプ誘致断念の答弁には失望した。誘致に対する市長の考えを伺う。共同受け入れを県などと協議しており、申請期限までしっかりと取り組んでいく。

市民フォーラム仙台

「せんだいりんべし」を基にしたまちづくり計画、市民主導のまちづくりを進めるため、行政の役割の明確化や全庁的な連携を図るべき、地域の課題解決を担う人材を育成するとともに、組織横断的な対応に取り組むたい。



北海道までつながった新幹線「J R北海道H5系 (提供: J R北海道)」

沼沢 しんや 議員

地下鉄南北線の名取市への延伸は、本市の交通事業として実現不可能ではないか。本市として延伸の計画はなく、まずは名取市で議論されるものと認識している。

審議の概要

市民フォーラム仙台

木村 勝好 議員

地下鉄南北線の名取市への延伸は、本市の交通事業として実現不可能ではないか。本市として延伸の計画はなく、まずは名取市で議論されるものと認識している。

社 民 党

ひぐちのりこ 議員

虐待等困難を抱える児童生徒の把握と性被害等から身を守る教育が不可欠だが、何う学校での様子や家庭への連絡等により把握し、心のケアと安全安心を第一に対応する。

社 民 党

辻 隆一 議員

地域包括ケアシステムの構築に当たり在宅医療体制の拡充が必要。地域医療構想とも連動する課題だが、今後の在り方について伺う。



子どもの遊びの場を保障する復興支援プロジェクト (子ども笑顔プロジェクト)

民 進 党

伊藤 ゆうた 議員

視覚障害者の日常生活用具としてタブレット端末とア

加藤 けんいち 議員

「特定空家等」への、催告に至るまでの事前の助言・指導の回数や期間等の具体的基準を定め、近日中に運用を開始する予定である。

村上 かずひこ 議員

子どもの貧困の連鎖防止のため、学習・生活サポート事業は必要な予算措置を講じ、より開かれた取り組みに無届けの介護施設の実態把握と施設を取り巻く現実を踏まえた丁寧な柔軟な対応を、町内会の存続支援の取り組み。

輝く 仙 台

文化施設の持つ諸機能にとどまらず、新たな「音楽の力」を未来に向けて考えていくためにも、音楽ホールは重要と受け止めており、今年度末までには方向性を判断する。



品川区の大井公園に設置されている仙台藩下屋敷跡の石碑

経済環境委員会

委員 小野寺 利裕

付託された平成28年度中央卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

都市整備建設委員会

委員 跡部 薫

付託された都市公園条例の一部を改正する条例ほか9議案は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

輝く 仙 台

柳橋 邦彦 議員

震災復興の途上で、音楽の持つ圧倒的な癒やし姿を学んだ。音楽ホールは20世紀の残像として引きずった「積み残し」を造るために、何うではないかと考えるが、伺う。



約2,000席を有するミュージカルシンフォニーホール (川崎市、2004年開館)

平成28年9月21日開催

常任委員会 審議の概要

委員会に付託された議案等の番号を、各常任委員会名の下にまとめて記載しています。また、各議案等の名称については、8面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

総務財政委員会

委員 加藤 和彦

付託された財政調整基金条例等の一部を改正する条例ほか5議案のうち、第117号議案は賛成多数で、第115議案、第118号議案、第131号議案および第132号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものとし、議第6号は

市民教育委員会

委員 高橋 次男

付託された学校条例の一部を改正する条例ほか1議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。付託された35人学級編制並びに特別支援学級編制基準緩和に関する件の請願は、全会一致で閉会中に継続して審査す

健康福祉委員会

委員 佐藤 わか子

付託された児童福祉施設条例の一部を改正する条例ほか1議案は、全て賛成多数で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

経済環境委員会

委員 小野寺 利裕

付託された平成28年度中央卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

都市整備建設委員会

委員 跡部 薫

付託された都市公園条例の一部を改正する条例ほか9議案は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

総務財政委員会

委員 加藤 和彦

本会議で議決を要しないものと決定しました。

市民教育委員会

委員 高橋 次男

付託された学校条例の一部を改正する条例ほか1議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

健康福祉委員会

委員 佐藤 わか子

付託された児童福祉施設条例の一部を改正する条例ほか1議案は、全て賛成多数で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

経済環境委員会

委員 小野寺 利裕

付託された平成28年度中央卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

都市整備建設委員会

委員 跡部 薫

付託された都市公園条例の一部を改正する条例ほか9議案は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●計画高水流量(注1) (4面1段) 流域に降った雨がそのまま川に流れ出た場合の流量から、ダム等による洪水調節の量を差し引いて、川を流れる流量。計画高水流量が川に流れた時の水位を計画高水位と言い、堤防や護岸の設計の基本となる。

●リバーペースメージ (注2) (4面2段) 高齢者が自宅等の不動産を担保にし、金融機関等から一括または年金の形で融資を受け、本人の死亡など契約終了時に担保にしていた不動産を売却することで一括返済する仕組み。

●カラーバリアフリー (注3) (5面1段) 色の区別がつきにくい色覚障害者等のために、印刷物や施設内の案内表示などにわかりやすい配色を使うことで、色覚の障壁(バリア)を解消し、情報を早く正確に伝えようとする配慮のこと。

●JKピシネス(注4) (5面3段) 法律上の定義はないが、主として女子高校生等をして、男性等に対し個室で添い寝やマッサージを行わせたり、会話やゲームの相手させたり、屋外で一緒に散歩させるなどのサービスを提供する営業のこと。

●オリンピック・レガシー (注5) (5面4段) オリンピック・パラリンピック競技大会の後に引き継がれていく有益な遺産のこと。各種施設やインフラの整備、スポーツ振興など、大会の開催を契機として、社会に生み出される持続的な効果を目指す。

●異門(注6) (6面1段) 仙台城三の丸の南側に位置する門のこと。昭和20年の空襲で焼失した。将来負担比率(注7) (6面5段) 借入金など自治体が現在抱えている負債の大きさを、その自治体の財政規模に対する割合で表したものを、自治体財政健全化法に基づく、自治体の財政の健全度を測る指標の一つ。この比率が高いと、将来的に財政が圧迫される可能性が高くなる。

●ファイダー化(注8) (7面1段) パス等により、幹線公共交通機関の駅・バスターミナル・空港ターミナルと連絡させること。ここでは、バス路線を東西線の駅に結節する形にしたこと。

●3歳の壁(注9) (7面4段) 0～2歳児向けの保育施設に子どもを預ける保護者が、3歳以降の預け先探しに苦労する状況のこと。

●不明水(注10) (7面4段) 分流水下道に流入する下水量のうち、下水道料金等で把握することが可能な有取水量以外の下水流量のこと。浸入経路や発生原因の違いから「雨天時浸水水」、「地下水浸入水」、「その他不明水」に分類される。

●政策的医療(注11) (7面6段) 救急医療や感染症医療など、それ自体では採算性の確保が困難であるものの、市民にとってなくてはならない重要な分野の医療のこと。

決算等審査 特別委員会

委員長 小野寺 利裕
副委員長 石川 建治
委員 佐々木 心香 委員 高橋 卓誠 委員 青葉山公園整備の進捗と今後の方向性を伺う。
国際センター地区が完成した。来年度は、仮称公園センターの基本設計・実施設計の予定。今後も市の都のシナジーとなるよう整備したい。
「WE TUBE」について
町内会等の活性化のため職員の積極的な加入と活動をしっかりとした職業観を保持した児童生徒に育てるため「仙台自分づくり教育」をさらに推進すべき。
宮城野原広域防災拠点の整備は、県に対し積極的に意見し連携して進めよ。
住民の理解を得ながら整備が円滑に進むよう、県と十分に連携を図ってほしい。
避難所開設準備の基準見直し
高度医療機関の地域バランス
市立病院のパンデミック対応
国家戦略特区と広域連携
やしろ 美香 委員
新学習指導要領に向け学校のICT環境整備のため具体的な導入計画を策定すべき。
第二期教育振興基本計画の検討委員会における整備の重要性についての意見を踏まえ、今後検討を進めたい。
不登校児童生徒への支援拡充
加藤 和彦 委員
小回りの利く小型バスの導入
公共交通体系の在り方に関する計画を的確なものにするため現状調査を実施すべき
バス事業の効率性向上に向けた取り組み
新しく自動車運送事業経営改善計画策定の考え方
生活保護を担当する若年層にスワーカーの資質向上を
市民センター等の手すりへの点字プレート設置の徹底と防音対策の推進を
地域住民参加型の交通安全教室を推進し交通安全啓発を
市民センターが主体となる地域力創造支援事業は、事業の目的を地域へ詳しく説明し取り組みの活性化を。
区役所とも協力し、事業趣旨を周知していききたい。
DV相談は関係機関との積極的な連携強化を
災害弱者に対する家具転倒防止対策の啓発
乗客増を図るため、バス停への時刻表掲示の工夫や主要箇所への所要時間表示を
掲出スペースの制約はあるが幅広く検討したい。
事業ごみ等処分手数料改定はごみ減量の効果を事業者に理解いただくことが必要
分別等を徹底すること
生活保護を担当する若年層にスワーカーの資質向上を
新幹線沿線の騒音問題の要望書は市長名で提出を。
東北新幹線鉄道騒音等対策会議で改善を要望している。
経済局・文化観光局・農業委員会
地域密着プロスポーツの施設使用料等の減免拡充を
都市整備局・建設局
自転車歩行者道の整備状況
歩道の街路樹根上り対策
セミフラット型歩道への改修(交通局)
乗客増を図るため、バス停への時刻表掲示の工夫や主要箇所への所要時間表示を掲出スペースの制約はあるが幅広く検討したい。
事業ごみ等処分手数料改定はごみ減量の効果を事業者に理解いただくことが必要
分別等を徹底すること

自由民主党

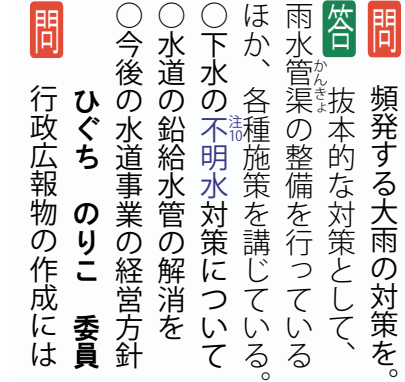
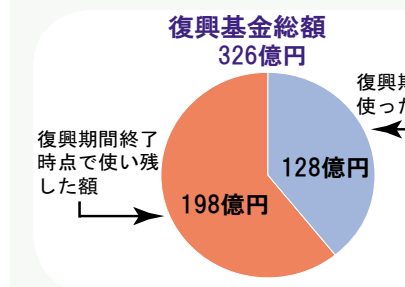
高橋 卓誠 委員 青葉山公園整備の進捗と今後の方向性を伺う。
国際センター地区が完成した。来年度は、仮称公園センターの基本設計・実施設計の予定。今後も市の都のシナジーとなるよう整備したい。
「WE TUBE」について
町内会等の活性化のため職員の積極的な加入と活動をしっかりとした職業観を保持した児童生徒に育てるため「仙台自分づくり教育」をさらに推進すべき。
宮城野原広域防災拠点の整備は、県に対し積極的に意見し連携して進めよ。
住民の理解を得ながら整備が円滑に進むよう、県と十分に連携を図ってほしい。
避難所開設準備の基準見直し
高度医療機関の地域バランス
市立病院のパンデミック対応
国家戦略特区と広域連携
やしろ 美香 委員
新学習指導要領に向け学校のICT環境整備のため具体的な導入計画を策定すべき。
第二期教育振興基本計画の検討委員会における整備の重要性についての意見を踏まえ、今後検討を進めたい。
不登校児童生徒への支援拡充
加藤 和彦 委員
小回りの利く小型バスの導入
公共交通体系の在り方に関する計画を的確なものにするため現状調査を実施すべき
バス事業の効率性向上に向けた取り組み
新しく自動車運送事業経営改善計画策定の考え方
生活保護を担当する若年層にスワーカーの資質向上を
市民センター等の手すりへの点字プレート設置の徹底と防音対策の推進を
地域住民参加型の交通安全教室を推進し交通安全啓発を
市民センターが主体となる地域力創造支援事業は、事業の目的を地域へ詳しく説明し取り組みの活性化を。
区役所とも協力し、事業趣旨を周知していききたい。
DV相談は関係機関との積極的な連携強化を
災害弱者に対する家具転倒防止対策の啓発
乗客増を図るため、バス停への時刻表掲示の工夫や主要箇所への所要時間表示を掲出スペースの制約はあるが幅広く検討したい。
事業ごみ等処分手数料改定はごみ減量の効果を事業者に理解いただくことが必要
分別等を徹底すること

公明党

分科会の主な質疑項目
〈危機管理室・総務局・まちづくり政策局・財政局〉
○水害時の車の一時避難場所確保のため市有施設の開放を
○自宅内の地震対策のポイント
○耐震化促進のため地震ハザードマップのさらなる周知を
〈健康福祉局・子供未来局〉
○いずみ墓園に安価に利用できる永久納骨堂の整備を。
他自治体の状況も把握しながら、提供する墓地の形態を検討していききたい。
○いずみ墓園にベター納骨堂を
○ひきこもりサポート派遣事業を導入し、本人と家族を支えるための訪問支援強化を
○学習・生活サポート事業における教員OB等の積極的登用
生活保護を担当する若年層にスワーカーの資質向上を
市民センター等の手すりへの点字プレート設置の徹底と防音対策の推進を
地域住民参加型の交通安全教室を推進し交通安全啓発を
市民センターが主体となる地域力創造支援事業は、事業の目的を地域へ詳しく説明し取り組みの活性化を。
区役所とも協力し、事業趣旨を周知していききたい。
DV相談は関係機関との積極的な連携強化を
災害弱者に対する家具転倒防止対策の啓発
乗客増を図るため、バス停への時刻表掲示の工夫や主要箇所への所要時間表示を掲出スペースの制約はあるが幅広く検討したい。
事業ごみ等処分手数料改定はごみ減量の効果を事業者に理解いただくことが必要
分別等を徹底すること

日本共産党

花木 則彰 委員
○本市の教職員数定数における加配定数は約50名分少ない。来年度の本市への権限移譲に当たり、中学校のいじめ対策として期待される少人数学級実現のため、求部科学省に加配を厳しく求め必要な教員数を確保すべき。
庄司 あかり 委員
○バス路線再編によるフリーダー化は機能していない。抜本的な見直しをすべきだ。
路線・ダイヤ・運賃の改善でバスの利用促進を図るべき
○コミュニティバスの補助
○七夕花火祭への支援充実を
高見 のり子 委員
○津波被災地域への住宅再建実費助成や津波被災者再建支援金は浦生北部地区の現地再建者も対象とすべき
JR貨物駅の岩切移転で心配される渋滞や騒音等の環境悪化に対し市は住民の暮らしと安全を守る立場に立つべき
ふなやま 由美 委員
○震災後5年間で129億円も赤字となった国民健康保険運営は問題。高すぎる保険料は直ちに引き下げを。患者の納得と同意に基づく市立病院の医療の在り方を
すげの 直子 委員
○緊急センターの看護師の待遇改善を図り、また平日深夜帯は2人体制から強化すべき
学校の老朽化対策を急ぎ、必要な維持修繕費の確保を
○区役所の体制を強化すべき
ふるくぼ 和子 委員
○住宅扶助や各種加算等の減額で生活保護世帯は生きていることが困難。憲法の生存権を具体化する機能を果たせ
○25人も不足しているケース



小山 勇朗 委員
頻発する大雨の対策を。坂本的な対策として雨水管渠の整備を行っている。ほか、各種施策を講じている。
○下水道の鉛給水管の解消を
○水道の鉛給水管の解消を
○今後の水道事業の経営方針
ひぐち のりこ 委員
行政広報物の作成には

社民党

相沢 和紀 委員
根上り対策等を含めた街路樹の適切な管理を。
○剪定等の管理を適切に行い、環境や景観にも配慮した計画の企画も検討する。
○老人福祉施設の高齢化対応
○地区防災訓練等の改善策
○市立病院の健全な経営の確保
河川の水位と避難情報との関連は住民にわかりやすい説明を(平成27年9月撮影)



民権について住民に説明を。3歳の壁と連携施設の設置。小規模保育事業への助成拡充。旧耐震基準で建てられた戸建木造住宅の耐震改修促進。市民の立場に立った職員対応。

市民フォーラム仙台

岡本 あき子 委員
○業務の複雑化と職員の雇用形態の多様化が進む区役所の業務内容の分析・見直しと人員配置の適正化を
○復興計画終了後も地元企業優先発注など地域経済活性化を食における「仙台ブランド」の確立と地産地消の拡大
○都市公園法上の公園施設としての町内会集会所設置
化団体に陥るのではないかと。一時的な要因もあるが極めて厳しい状況にある。各種施策を講じ収支改善に努める。
○高速バス発着案内の一本化
○外郭団体のトップに民間から人材を登用し活性化を
○今後、「ご指路を踏まえた在り方も検討したい」
○市民会館の方向性の早期決定
○指定管理者公募選定の徹底
○特別支援学級担任の資質向上
○命を守る視点でいじめ対策を
村上 かずひこ 委員
○相対的貧困世帯の子どもも参加できるように、学習・生活サポート事業のオープン化を
○職員の地域活動参加に対する人事評価への反映
○民生委員等の担い手確保策
○地籍調査を実施すべき
○保護課職員の増員を
小野寺 健 委員
○高齢化により市民力や地域力は確実に衰えている。市民力・地域力向上のために必要な予算措置を講じるべき。

民進党

伊藤 ゆうた 委員
決算年度のガス局の営業活動の中で、飲食を伴う場合に約250万円の支出をしている。食糧費の支出について明確な基準を定めるべき。
○飲食を伴う場合は、PR活動や情報交換など事業運営上必要なもの、かつ社会通念上の許容範囲内の費用に限って実施して。今後とも適切な運用に努めていききたい。
柳橋 邦彦 委員
政策的医療に対する市立病院の考え方を伺う。
本市唯一の自治体病院として、継続的・安定的に政策的医療を提供していく。
○インターネットと医療の関係
○統合医療に係る取り組み
○患者を中心とした医療提供
○芸術やスポーツの力と医療
○音楽ホール等重要政策や事業の決定過程の「見える化」

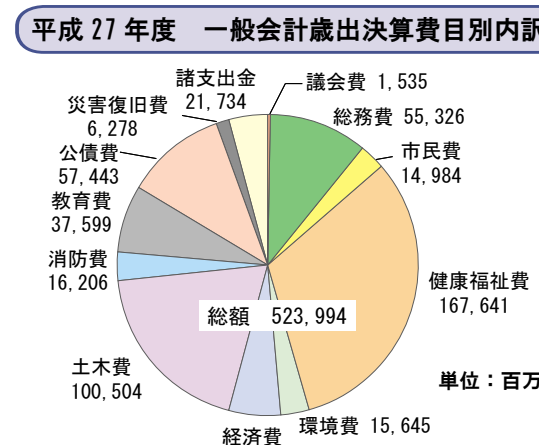
輝く仙台

柳橋 邦彦 委員
政策的医療に対する市立病院の考え方を伺う。
本市唯一の自治体病院として、継続的・安定的に政策的医療を提供していく。
○インターネットと医療の関係
○統合医療に係る取り組み
○患者を中心とした医療提供
○芸術やスポーツの力と医療
○音楽ホール等重要政策や事業の決定過程の「見える化」



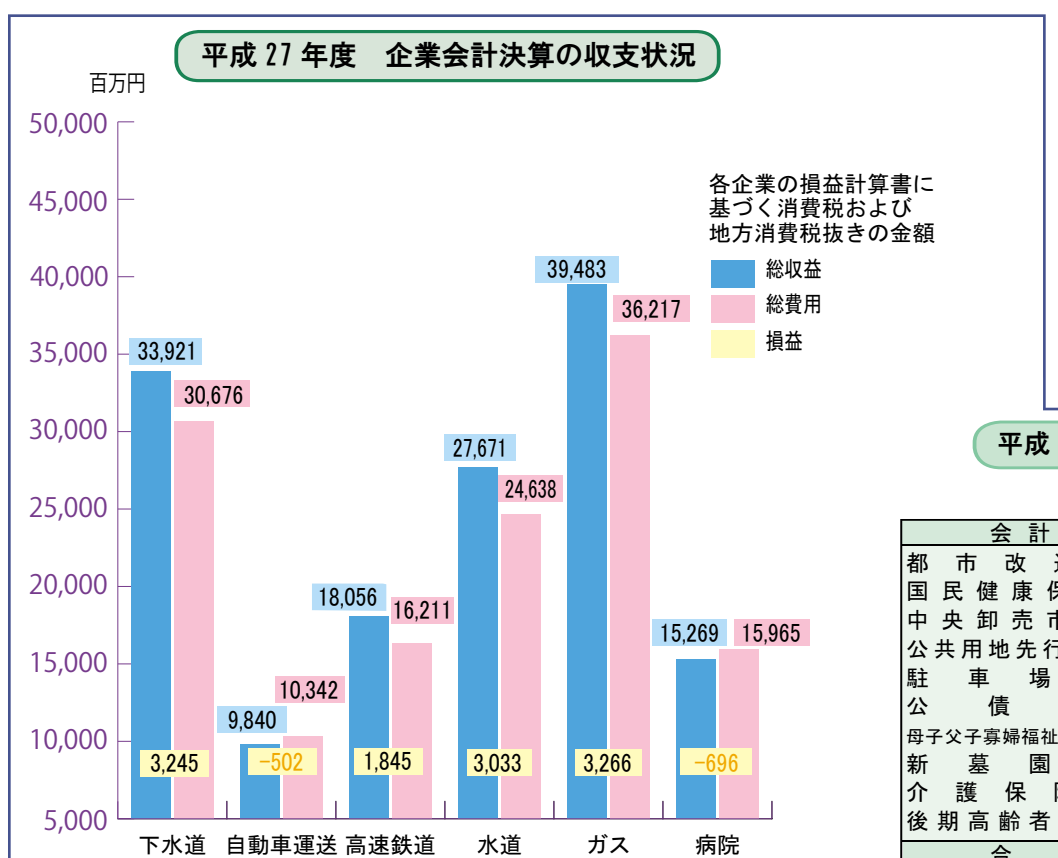
平成27年度 特別会計決算の収支状況

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	6,606	5,175	1,431
国民健康保険事業	115,821	113,108	2,713
中央卸売市場事業	5,546	5,529	17
公共用地先行取得事業	1,708	1,708	0
駐車場事業	242	197	45
公債管理	127,602	127,602	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	331	89	242
新築事業	807	755	52
介護保険事業	65,706	64,494	1,212
後期高齢者医療事業	10,485	10,420	65
合計	334,854	329,077	5,777



平成27年度 一般会計決算の収支状況

項目	金額
予算現額	585,737
歳入決算額	A 541,454
歳出決算額	B 523,994
歳入歳出差引額	C=A-B 17,460
翌年度へ繰り越すべき財源	D 14,303
実質収支額	E=C-D 3,157



豪雨被害が甚大だった岩手県泉町で救助活動をする本市の緊急消防援助隊

会派別議案等賛否一覧表

議案等 []内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数							採決結果
	自由民主党 (22)	市民フォーラム仙台 (10)	公明党仙台市議団 (9)	日本共産党仙台市議団 (7)	社民党仙台市議団 (5)	民進党 (1)	輝く仙台 (1)	
平成27年度決算 一般会計歳入歳出[108] 特別会計歳入歳出[108] ・都市改造事業 ・介護保険事業 企業会計 ・自動車運送事業[110] ・国民健康保険事業 ・後期高齢者医療事業 高速鉄道事業[111]	○	○	○	×	○	○	○	認定
特別会計歳入歳出[108] ・中央卸売市場事業 ・駐車場事業 ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業 ・新墓園事業 企業会計 ・下水道事業[109] ・ガス事業[113] ・公共用地先行取得事業 ・公債管理 ・水道事業[112] ・病院事業[114]	○	○	○	○	○	○	○	認定
補正予算案 一般会計(第2号)[115]	○	○	○	×	△	○	○	可決
特別会計 ・中央卸売市場事業(第1号)[116]	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例制定案 債権管理条例[117]	○	○	○	×	○	○	○	可決
条例改正案 財政調整基金条例等[118]、都市公園条例[120]、学校条例[121]、水道事業の設置等に関する条例等[122]	○	○	○	○	○	○	○	可決
児童福祉施設条例[119]	○	○	○	×	△	○	○	可決
その他議案 平成27年度水道事業会計利益処分に関する件[112]、工事請負契約の締結に関する件[123~129]、訴えの提起に関する件[130]、仙台都市圏広域行政推進協議会規約の変更の協議に関する件[131]、土地開発公社の解散に関する件[132]、市道路線の認定及び廃止に関する件[133]	○	○	○	○	○	○	○	可決
教育委員会の委員の任命に関する件[134]	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員候補者の推薦に関する件[135]	○	○	○	○	○	○	○	異議ないものと決定
議員提出議案等 議第5号 市議会会議規則の一部を改正する規則 議第3号 北朝鮮の核実験及びミサイル発射に対する抗議に関する件 意見書第3号 返還不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める件	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第6号 債権管理条例	上記第117号議案が可決されたことにより、議決不要							
議員派遣の件	○	○	○	○	○	○	○	可決

○: 議案等に対して賛成 ×: 議案等に対して反対 △: 議案等採決の際に一部議員退席

新委員の紹介

平成28年10月11日現在
(◎委員長 ○副委員長)

総務財政委員会
所管 危機管理室
総務局
まちづくり政策局
財務局
その他

◎加藤和彦
◎相沢和紀
○渡辺博紀
○鈴木勇治
○村上かずひこ
○花中則彰
○嶋中貴志
○野田貴志
○安孫子雅浩
○小田島久美子
伊藤ゆうた

市民教育委員会
所管 市民局
消防局
教育委員会

◎高橋次男
○加藤けんいち
○庄司俊充
○辻隆一
○田村隆
○平井みどり
○松本由裕
○岡部恒司
○鈴木恒康
○ふるくぼ和子
すげの直子

健康福祉委員会
所管 健康福祉局
子供未来局
市立病院

◎佐藤わか子
○菊地崇良
○柿沼敏夫
○斎藤範夫
○高見のり子
○ひぐちのりこ
○鎌田城行
○ふなやま由美
○佐藤幸雄
○小野寺拓
わたなべ

経済環境委員会
所管 環境局
経済局
文化観光局
農業委員会
ガス局

◎小野寺利香
○やしろ美裕
○柳橋邦彦
○小嶋勇朗
○嵯峨サダ子
○西澤啓文
○佐藤和子
○渡辺正昭
○沼辺敬信
○高橋しんや
卓誠

都市整備建設委員会
所管 都市整備局
建設局
水道局
交通局

◎跡部真由美
○佐々木薫
○菊地昭好
○木村勝一
○赤間次彦
○石川建治
○菅原正和
○菅原あき子
○岡本和子
○橋本あかり
○佐々木啓心
庄司あかり

議会運営委員会
所管 議会運営に関する事項

◎柿沼敏夫
○小野寺利香
○小野寺裕健
○佐々木崇良
○佐々木心健
○平井みどり
○佐藤幸雄
○佐藤あかり
○庄司紀
相沢和紀

広報委員会
所管 議会広報に関する事項

◎小野寺利香
○菊地崇良
○佐々木心健
○佐々木崇良
○佐々木心健
○平井みどり
○佐藤幸雄
○佐藤あかり
○庄司紀
相沢和紀

市議会ガイドQ&A

Q 委員会ではどんなことを行っているのですか？

A 仙台市議会には、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、広報委員会の4種類の委員会が設置されています。

◆議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うために、各会派の意見を調整し、議会の運営、会議規則、議長との諮問に関する事項などについて協議、調査を行います。

◆常任委員会

5つの委員会が設置されており、それぞれの所管に属する事務に関して調査し、議案・請願などを審査します。

◆特別委員会

必要に応じ、設置されます。市政に関わる特定の事項を調査する調査特別委員会や、当初予算や決算について審査・調査する予算等審査特別委員会、決算等審査特別委員会があります。

◆広報委員会

市議会だより、市議会ホームページ、議会のテレビ中継など、議会広報に関することを協議し決定しています。

平成28年第4回定例会は、
12月5日(月)開会の予定です。

**市議会を
傍聴してみませんか**

市議会では、本会議や常任委員会等の会議を一般公開しています。傍聴をご希望の方は、会議当日に議会の受付でお申し込みください。また、聴覚に障害のある方が本会議を傍聴する際に、手話通訳をご利用いただくことができます。傍聴予定日の3日前(土・日・祝日を除く)の正午までに申込書に必要事項を記入し、お申し込みください。

〈お申し込み・お問い合わせ〉
議会事務局庶務課
FAXTEL (214) 6164
(265) 9626